

# STOP! THE 地球温暖化 — 暮らしと環境 —

## 教科等横断的単元

5年社会科・家庭科・国語科 2月 36Q (12時間)  
附属新潟小学校 指導教諭 大矢 和憲

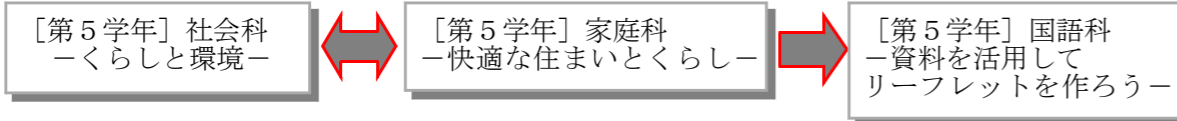
### 1 本単元で目指す姿

地球温暖化と自分の生活を関連付けて、温暖化防止にかかわる考えを深める子ども  
「事象や人々の相互関係に着目する」「比較・関連付け・総合して考える」社会的な「見方・考え方」、「持続可能な社会の視点で捉え、よりよい生活を営むために考える」生活の営みに係る「見方・考え方」を働かせて、社会科・家庭科・国語科で育成する資質・能力を發揮しながら、地球温暖化（以下：温暖化）防止に向けて、CO<sub>2</sub>排出量を減らすための暮らし方を考え、実践しようとする姿。

### 2 本単元で育成する資質・能力（評価規準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
社会科	○社会生活に関する知識 ・温暖化による影響とその原因に関する知識 ・温暖化に対する取組についての知識 ○統計資料等を効果的に活用する技能	○社会に見られる課題を把握して解決に向けて学習したことを基にして、社会へのかかわり方を選択・判断する力 ○根拠や理由を明確にして、社会的事象についての自分の考えを論理的に説明する力	○社会の一員として、持続可能な社会の実現に向けて、よりよく課題解決しようとする態度
家庭科	○消費生活や環境に配慮した生活の仕方に関する知識・技能	○生活の問題点について自分の経験や既習と関連付けて、解決方法を構想する力	○家族や地域の人々とかかわり、協力しようとする態度
国語科	○的確に話す・相手の意図をつかみながら聞く技能 ○文章全体の構成の効果を考え文章を書く技能 ○資料から情報を読み取り根拠となる情報を活用して文章を書く技能	○自分の考えたことや伝えたいことを言葉にする力 ○相手の考えたことや伝えたいことをとらえる力 ○必要な事柄を多面的・多角的に精査し、構造化する力	○相手や目的、意図などに応じて適切に話したり聞いたりしようとする態度 ○目的や意図、相手に応じて、文章の種類を選択し、適切に書くこととする態度

### 3 学習の関連



### 4 単元の計画

	【学習活動】★資質・能力	【働き掛け】	Q
一 次	※ これまでに、家庭科で「寒い季節の快適な暮らし方」について学習している。 <b>○ 温暖化が原因で起きている問題だ。★社会科①</b> ◎温暖化でどのような問題が起きているのだろうか。 ◎温暖化は何が原因で起きているのだろうか。 ◎どうしたら温暖化を止めることができるのだろうか。	◆ 事前に家庭科の学習で、「寒い季節を快適に」の学習を行う。 ◆ 温暖化によって起きている問題に関する写真を複数枚提示し、共通することを問う。 ◆ 詳しく知りたいことを問い、単元を貫く学習課題を設定する。 ※ 温暖化による問題、原因、解決方法に関する課題を設定させる。	24 Q 8 時間

○ 学習の見通しを立てる。

**○ 温暖化が原因で起きている問題や温暖化の原因、温暖化を止める方法を調べよう。★社会科③**

○ 温暖化について小グループに分かれて調べ、分かった事実をまとめる。  
○ 調べて分かった事実を、ワールドカフェ形式で交流する。  
○ 学習のまとめを記述する。

◆ どのようなことが分かればいいのか、どのように学習していけばよいかを問う

◆ 必要とするツールを与え、小グループで調べさせる。  
※ タブレット端末やコア・マトリクス等子どもが必要とするツールを用意する。  
◆ ワールドカフェ形式で発表させる。  
◆ 学習で分かったこと、考えたこと、思ったこと、「考え方のコツ」を問う。

**○ 温暖化はCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスが原因でどんどん進んでいて、異常気象等の問題が世界各地で起きていることが分かった。このままでは地球が危ないから、CO<sub>2</sub>排出量を減らす努力をしなければいけない。★社会科①②③**

○ 温暖化に対する世界、国、市、企業の取組について調べる。  
・世界の国々、市や会社もCO<sub>2</sub>排出量を削減しようと取組を行っている。

◆ パリ協定や日本政府、新潟市の取組、県内の企業の取組と成果が分かるVTRや資料を提示し、分かることを問う。  
※環境省DVD「気候変動への挑戦」視聴

**○ 世界中の国々が温暖化を防ぐために協力しようとしていたり、国や市、工場や会社でも目標を決めてCO<sub>2</sub>排出量を減らす取組を行ったりしている。そして、CO<sub>2</sub>排出量を減らすことに成功してすごいと思った。★社会科①**

○ 家庭からのCO<sub>2</sub>排出量に問題意識をもち、学習問題を設定する。  
★社会科・家庭科①③

◆ CO<sub>2</sub>排出量に関する資料を提示し、問題と感ずる理由とこれから考えたいことを問う。  
【働き掛け1】

◎ CO<sub>2</sub>排出量を減らすためには、どのように生活すればよいのだろうか。

◆ 学習問題を解決するためにどのようなことを調べたり考えたりしていけばよいかと、どのように学習していけばよいかを問う。  
【働き掛け2】  
◆ 必要とするツールを与え、小グループで提案を考えさせる。  
【働き掛け3】

○ 調べたり考えたりしていく視点を共有し、学習方法を考える。  
○ 小グループで必要な情報を調べ、「CO<sub>2</sub>排出量を減らすための暮らし方」を考える。  
★社会科・家庭科①②③  
★協働性・ツール活用能力

◆ ワールドカフェ形式提案について説明させ、メリットとデメリットを指摘させる。  
【働き掛け4】  
※ 実際に家庭で行うことを問い、家庭で実践させる（宿題）。

○ 各グループの提案について、ワールドカフェ形式で相互評価する。  
★国語科「話すこと・聞くこと」①②③  
★社会科・家庭科①②③

◆ 学習問題について分かったこと、考えたこと、思ったこと、「考え方のコツ」を問う。  
【働き掛け5】

○ 学習のまとめを記述する。

**○ 温暖化を防ぐためには、私たち一人一人が暮らしの中でCO<sub>2</sub>排出量を減らす工夫や努力、協力をしていかなければいけないことが分かりました。考えた暮らし方を実際に家でやってみたら、できなかったことや忘れていたこともあって難しかったです。だけど温暖化を防ぎ未来の生活を守るために、これからも家族で協力して節電などの工夫や努力を続けていきます。★社会科・家庭科①②③**

○ 新潟市が行っている取組や、家庭でできる省エネの取組について学習する。  
・やっぱり温暖化防止は、自分たちが解決しなければいけない。

◆ 新潟市環境政策課の方を招き、「家庭の省エネ取組支援講座」を行う。  
◆ 環境政策課の方に聞きたいことや、話を聞いて考えたことを問う。

○ 資料を生かして、これまでに考えたことをリーフレットにまとめる。  
・これまで学習してきた「地球温暖化のこと」についてポスターにまとめるといい。  
★国「書く」・社・家①②③

◆ 国語単元「資料を活用してリーフレットを作ろう」を提示・確認し、どのようなテーマで学習を進めたらよいか問う。  
◆ 教科書を基に学習の進め方を確認させリーフレットの制作に取り組ませる。  
※ 国語への接続

二  
次

12  
Q  
4  
時間